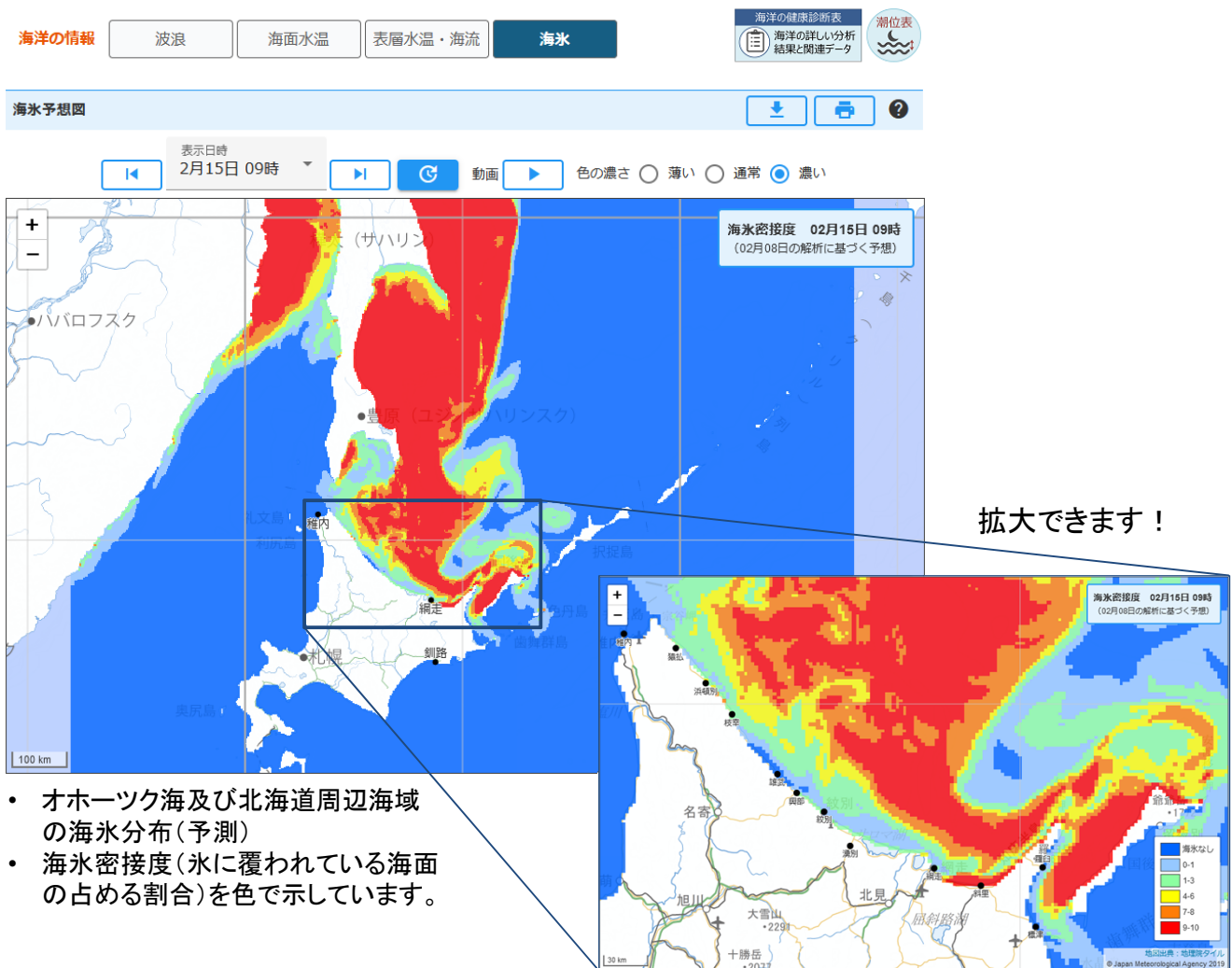


# オホーツク海の海水情報を利用してみませんか？

～ 詳しくなった気象庁の海水情報 ～



気象庁ホームページの「海洋の情報」の海水予想図

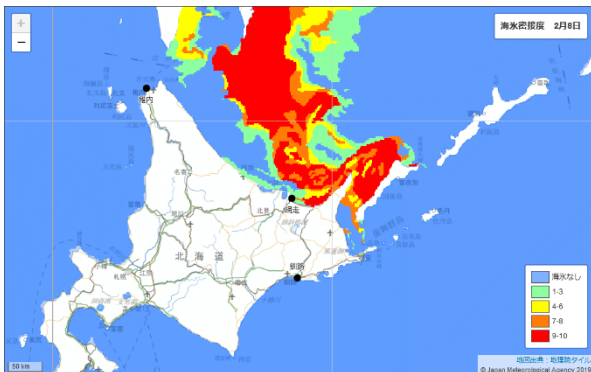
[https://www.data.jma.go.jp/kaikyou/seaice/tile/jp/index\\_fct.html](https://www.data.jma.go.jp/kaikyou/seaice/tile/jp/index_fct.html)

気象庁のホームページでは、オホーツク海及びその周辺の海水に関する情報を提供しています。2021年12月から、オホーツク海及び北海道周辺海域の海水の状況をより詳細に把握できるようになりましたので、新しくなった海水情報をぜひご利用ください。

# オホーツク海の詳細な海水分布

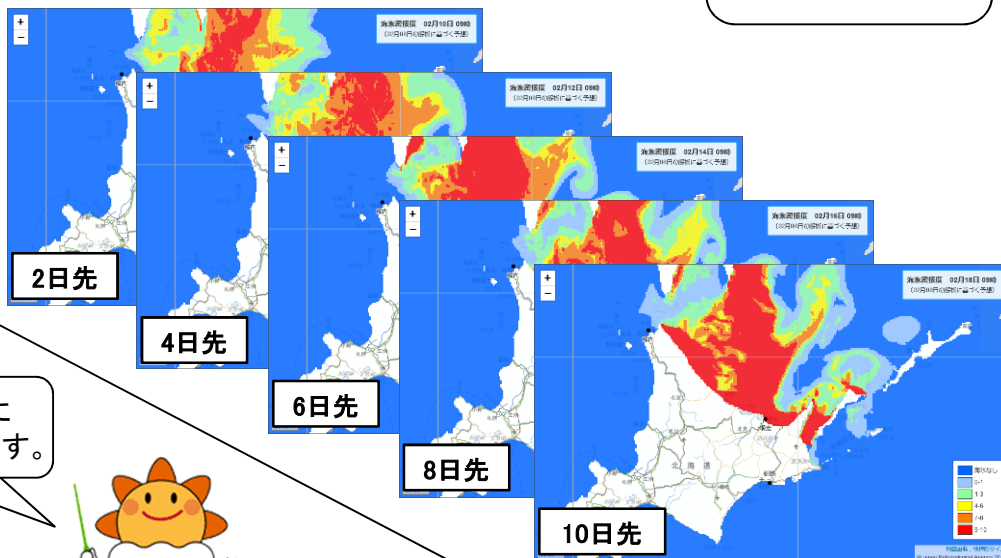
気象庁では、海水分布の現在の状況と10日先までの予測を提供しています(12月~5月の期間)。オホーツク海及び北海道周辺海域の詳細な海水分布を再現・予測しており、漁業、海上交通、海上作業の参考情報として利用することができます。

## 実況



海水予想図は  
12月~5月の期間、  
毎日発表しています。

## 10日先までの 予測



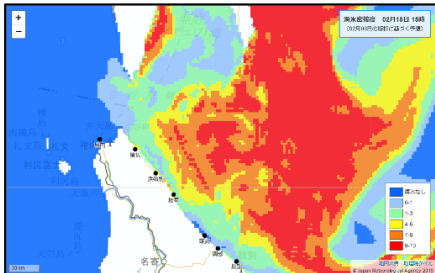
見たい領域で自由に  
拡大・縮小が出来ます。



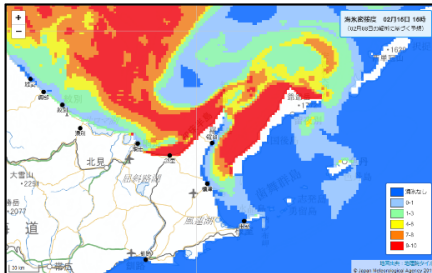
## 詳細な海水分布

### 海水分布予測の拡大図

例: 2022年2月15日(7日先)15時の予測



(宗谷海峡~網走沖)



(網走沖~釧路沖)

日本海や太平洋への流出の様子など、海水の詳細い分布も確認できます。

## 文字情報

### 北海道沿岸域の海水情報

例: 2022年2月9日発表分

北海道沿岸域の海水情報	
令和4年 2月9日 09時 (2月8日の解析に基づく予想)	
<b>宗谷地方の海水</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>釧路沖の海厚10から20kmにあります。</li> <li>海水は宗谷海峡から流入している模様です。</li> <li>明日にかけて、釧路沖で海厚に近づくと見込みです。</li> <li>海水は宗谷海峡から日本海へ流出するでしょう。</li> </ul>
<b>網走・紋別地方の海水</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>網走沖から釧路沖にかけての海厚で推移している模様です。</li> <li>網走沖では海厚の広い範囲で推移している模様です。</li> <li>明日にかけて、網走沖から釧路沖にかけての海厚で引き続き推移する見込みです。</li> <li>釧路沖では海厚の広い範囲で引き続き推移する見込みです。</li> </ul>
<b>網走・根室・十勝地方の海水</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根室沖で推移している模様です。</li> <li>海水は根室沖に推移している模様です。</li> <li>海水は根室海峡から太平洋へ流出しています。</li> <li>明日にかけて、釧路沖、網走沖、根室沖で引き続き推移する見込みです。</li> <li>引き続き、海水は根室海峡に流入するでしょう。</li> <li>引き続き、海水は根室海峡から太平洋へ流出するでしょう。</li> </ul>
予測データを利用して毎日発表(12月~5月の期間)	

# 海水に関する様々な情報

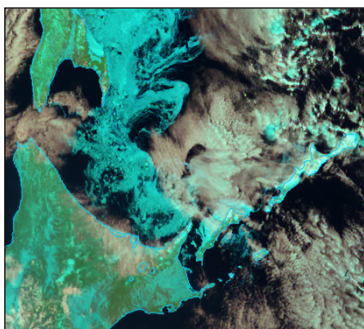
## 冬のオホーツク海…例年の海水の様子は？

冬になると、オホーツク海北部で海水が凍って海氷となり、これが海流や風によって流されて、1月頃には北海道沿岸までやって来ます。年によっては日本海や太平洋にまで流れ出ることもあります。そして4月頃になると、海水は北海道沿岸から去っていきます。海氷は冬の北海道の風物詩として毎年多くの人々に親しまれている一方、水産物や漁業施設に被害を及ぼし、船舶の航行の妨げになることがあります。時には船舶が海氷に閉じ込められて遭難することもあります。

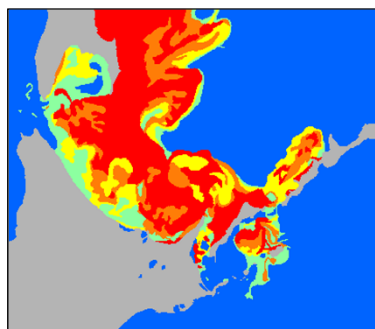


## オホーツク海の海氷に関する情報

気象庁では、冬のオホーツク海の日々の海氷の衛星画像や海水密接度(※)を示した海氷解析図を公表しています。また、12月～5月までの期間、衛星、航空機、船舶などから得られる最新の海氷観測資料に基づきオホーツク海及び北海道周辺海域の海氷情報を発表しています。

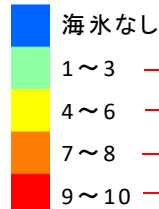


海氷の衛星画像

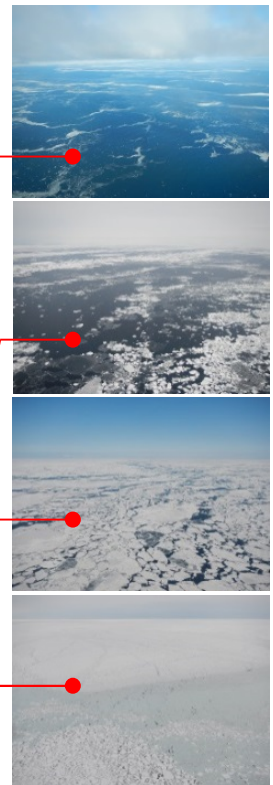


海氷解析図

### 海水密接度(※)

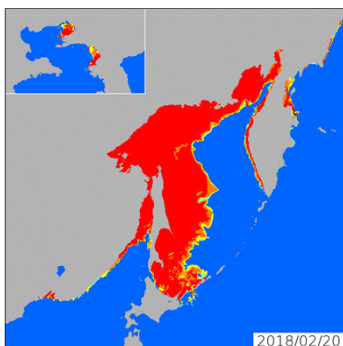


※「海水密接度」とは、ある領域内で氷に覆われた海面の占める割合のことで、1～10の10段階で表します。

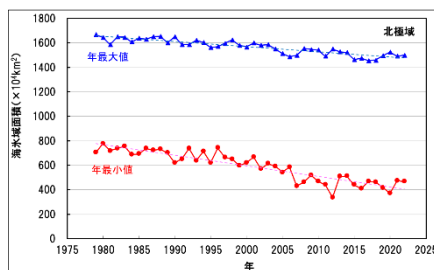


## 海氷の過去の分布や長期的な変化

気象庁ホームページではオホーツク海のほか、北極域と南極域の過去の海水分布図や海水域の面積データを掲載しています。季節による海水分布の違いや、海水域の面積が長期的に変化していく様子も確認できます。



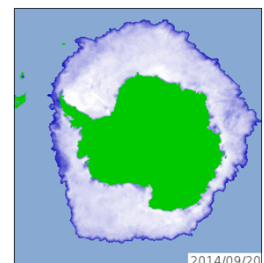
オホーツク海の海水分布図



北極域の海水域面積の長期変化 (年最大値・年最小値の経年変化)



北極域の海水分布図



南極域の海水分布図

これらの情報が掲載されている「海洋の健康診断表」はこちらから  
<https://www.data.jma.go.jp/kaiyou/shindan/index.html>

海洋の健康診断表

検索



# 日本沿岸海況監視予測システムを利用した海水業務の開始

2021年12月から海水の予測に日本沿岸海況監視予測システムを導入し、海水の沿岸域への接近や、海峡からの流出・流入を詳細に予測できるようになりました。

**日本沿岸海況監視予測システム**

日本近海  
解像度約2km  
スーパーコンピュータ



**観測・解析データ**

気象衛星 航空機  
船舶 沿岸海水観測

気象衛星や船舶、航空機、沿岸海水観測のデータを収集

オホーツク海の海水分布状況を解析



**海水に関する詳細な情報**

海水予想図 (地図タイトル)

全般海水情報 (STPN)

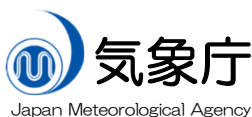
船舶向けの海水情報を気象無線模写通報 (JMH) により発表 (STPN, FIOH)

海水予想図 (FIOH)

海水情報ができるまで

## 気象庁ホームページの海水の情報をご利用ください

このパンフレットで紹介している「海洋の情報」と「海洋の健康診断表」は、気象庁ホームページからご利用になれます。「海洋の健康診断表」では、北海道沿岸の海水観測データや、海水の平年値に関する情報などについてもご覧になれます。



気象庁 大気海洋部 環境・海洋気象課 海洋気象情報室  
 電話：03-6758-3900 (代表)  
 FAX：03-3434-9086 (耳の不自由な方向け)  
 メール：shindan@climar.kishou.go.jp